

女子48kg級

準決勝戦第1試合

2宝 真由美 崩上四方固 3末成 雅子

宝右組み、末成左組みの両者の対戦は、1分37秒に末成が指導1を受けた後、宝が2分36秒に右体落で崩して、そのまま崩上四方固で抑え込む。

準決勝戦第2試合

3平野 真葉 G・S優勢勝 3谷本 千絵

共に左組み手の両者の一戦は、互いにポイントを奪えず、延長戦にもつれるが、延長戦開始48秒、谷本が左引き手を掴むや否や右袖釣込腰で有効を奪い、念願の決勝戦進出。

決勝戦

2宝 真由美 体落 3谷本 千絵

両者、左右の組み手争いから始まるが、55秒に谷本の左組みからの右一本背負投を潰した宝が、縦四方固で抑え込み、これが決まったと思われた瞬間、谷本は5秒で逃れる。

その後も両者激しい組み際の攻防が続く。しかし、徐々に宝が組み手を制す場面が増え、迎えた2分15秒に、宝が体を左に素早く回転させながら左膝を畳に着け、低い姿勢から右体落を仕掛けると、これが見事に決まる。

宝、鮮やかな一本勝で、男子60kg級の了徳寺学園小川選手に並ぶ五連覇の偉業に花を添える。